

授業改善等に関する報告書（2022 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
イノベーション論	篠崎 香織	<p>「イノベーション」というよく耳にするけれども、中身については考える機会があまりない人が多かったと思います。色々なテーマから、講義だけでなく、グループワークを通して履修者同士意見を出し合いながら進めることができました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>各自のプレゼンテーションを通して、履修者の着眼するイノベーションをすることができたので、次回の参考させていただきます。</p>
キャリア・デザイン論	吉田 雅彦	<p>多くの学生から、就活に活かせる知識を身に付けることができた。自分のキャリアについて考える機会になった。教科書を見ながらしっかりと学ぶことができた。質問に答えてくださるのがうれしかった。オンデマンド型で残念でしたが、掲示板機能で質問に回答してくださったのがとても良かったです。といったコメントをいただきました。</p> <p>・企業研究入門、就職活動入門と毎回2冊の課題が出ていたが、宿題の量が2倍になっても良いので、毎週1冊ずつ課題を取組みたかった。</p> <p>・掲示板では、締め切り前に提出しており、かつ他の質問でも回答されていない質問をした場合も、ご回答を得られないことがあり、基準が気になった。</p> <p>・課題に毎回質問や感想を書く欄があったが、欄が1つでないためどこに何を書いたらいいのかよく分からなかった。</p> <p>・オンデマンド授業も良かったが、話し合いや意見交換の機会が複数回あると良かったと思う。</p> <p>という指摘もいただきました。</p> <p>・次回からは、教科書を1冊ずつ仕上げるようにします。</p> <p>・掲示板の質問は同じ質問には答えないようにしていました。質問を既出の答えに紐づけるようにします。</p> <p>・質問は一か所にまとめます。</p>
コミュニケーション概論	高木 裕子	<p>入学して初めての授業で迷われたこともあったかと思いますが、また、2コマ目の授業で、後半は出席にも疲れが出てきていたようにも感じられましたが、今年度は引き続きコロナ禍での授業で、個人作業で行う学習を増やし、一方で、従来の教室内でペアワーク等の諸活動は減らしましたので、今回のような結果になったのではと思っています。</p> <p>次年度は、是非ともこれら教室活動を復活させ、実施できるようにしたいと思います。対面と非対面でのコミュニケーション上の違いも今年度の実施でよくわかりましたので、これらも活かした授業にしていきたいと思います。</p>
ソーシャル・デザイン・プロジェクトB	標葉 靖子	<p>イノベーションや社会的課題解決が求められている分野・現場で実際に活用されているデザイン思考やシステム思考などのフレーム・技法を知り、体験することを重視しました。またアイデアを社会に実装していくにあたって求められる視点についても必ず取り入れるようにしています。自らのアイデアを社会で実現していくためには、段階的により多くのステークホルダーを巻き込んでいく必要があります。本授業で扱った枠組みや考え方はそうした場面で必ず役立つと思いますので、忘れずに日頃から実践していただきたいと思います。</p>
マーケティング論	井上 綾野	<p>オンデマンドで聞き取りにくい点もあったかと思いますが、毎週しっかりと課題に取り組んでいた点が印象的でした。ここで学んだ理論を、他の授業や将来実務で活かせるように、これからも頑張ってください。</p>
メディア・コミュニケーション論	標葉 靖子	<p>メディア・コミュニケーションに関して、みなさんの身の回りで起きている現象をメディア論における理論・実証研究で裏打ちされた知識・考え方で読み解けるよう授業を構成しました。オンデマンドの特性を活かし、各履修学生のミニツレポートでの質問や疑問、鋭い指摘などを次の回で全員に対してフィードバックすることで、理解が深まるよう工夫をしました。動画もユニットごとに区切るようにしましたが、早口になってしまっているときもあったようですので、気をつけたいと思います。</p>
メディア社会論	駒谷 真美	<p>まず「メディア社会論」がアンケート全項目において、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価を得て、履修した学生たちの育ちに役立てたこと、心より嬉しく思っている。教員として今後の励みとしたい。</p> <p>本年度もコロナ禍の感染状況を鑑みながら、履修生たちは第14回まで真面目にかつ積極的に取り組んでくれた。毎回メディアに関わる重要案件について、responのイントロ・ブレイクアンケートやリフレクションシートを一生懸命に考えて回答してくれていた。特に、アドミュージアム東京の公共広告と、テレビ朝日のコロナ禍の災害報道については、ゲストスピーカー講演とフィールドワークとレポートを課題にしたが、果敢に参加してくれた。</p> <p>この講義を通して学んだメディア情報リテラシーをSociety5.0で生き抜く糧にしてほしい。</p>

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
メディア情報リテラシー	駒谷 真美	<p>本講義は、情報社会の根幹を理論的に追究するかなり難易度の高い講義内容である。PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングの手法を取り入れて、履修生全員が主体的に参加している。「女性とメディア」について、#Metooや生理の貧困などの最新のトピックも履修生の希望に寄り添って取り上げている。</p> <p>この講義を通して、履修生たちは、メディアからの一方的な情報を鵜呑みにすることなく、次第に自分たちの視点でグループディスカッションとプレゼンを行えるまでになっていた。</p> <p>履修生が個人とグループ、両方の立場で深慮しながら真摯に取り組む姿が、PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングで促進され、本講義の目的である「クリティカル・シンキングの基盤となるメディア情報リテラシーの育成」に繋がったと考える。</p> <p>その結果が、授業アンケートでは、成長実感度・意欲向上度・自己評価・満足度すべてに高い数値として表れていた。全体平均と当該区分平均を上回る評価を得たことは、履修生たちの育ちを見れて大変喜ばしい。</p>
リーダーシップ開発B	標葉 靖子	<p>リーダーシップは特別な目立つ人だけが持っているものだという誤解を解き、すべての人が発揮すべき、また発揮できるものであることを体験を通して学んでもらえるようにプロジェクトを組んでいます。自ら動き出さなければ何も得られない局面が多々あるように敢えて設計しているため、なかなか思い通りにいかない部分もあったと思います。しかしながら、そうした経験は必ず次に生かされると思いますので頑張ってください。</p>
リーダーシップ論	谷内 篤博	<p>内容がかなり高度で、最新の理論を解説しているためか、説明が少し分かりにくかったようで、今後は分かりやすい解説を心掛けたい。また、板書が見にくいようで、字の大きさや分かりやすい表現を心掛けたい。学生はこの授業を通じて成長を感じている点は教育者として喜びを感じる。</p>
ワーク・ライフ・バランス論	山根 純佳	<p>授業の理解度にばらつきがあったので、よりわかりやすい授業を心がけたい</p>
英語コミュニケーションⅡA	シオティーノ, アン 時田 朋子	<p>コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたら嬉しいです。英語のスキルアップを目指して後期も頑張りましょう。</p>
英語コミュニケーションⅡA	ミラー, ブルース 内田 里美	<p>Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. It was a pleasure to work with you all this past semester, and I hope everyone will continue to work together on supporting each other to help improve your speaking and listening skills in the next semester. In the meantime, enjoy the rest of the summer holidays and see you in September! (: (ミラー)</p>
英語コミュニケーションⅡA	ミラー, ブルース 富倉 教子	<p>Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. It was a pleasure to work with you all this past semester, and I hope everyone will continue to work together on supporting each other to help improve your speaking and listening skills in the next semester. In the meantime, enjoy the rest of the summer holidays and see you in September! (: (ミラー)</p> <p>皆さん、アンケートにご協力くださりありがとうございます。 感染防止などから変則的な授業形態で実施し、不都合もあったかと思われませんが、皆さんが熱心に真摯にこのコースに及び英語に向かいあい、学ばれていたことがわかり、大変嬉しく思っています。授業実施に関しては今後も試行錯誤していこうと思っています。今回の授業が皆さんの今後に関係に立つことがあればと望んでいます。これからも英語に触れ、英語を通じて何かに触れ、そして自分を再確認しながら進んでいってください。またお会いできるのを楽しみにしています。(富倉)</p>
英語コミュニケーションⅡA	阿佐美 敦子 マルチェフ, ミレン・アンゲロフ	<p>アンケートにご回答くださった方々、ありがとうございました。 使用しているテキストは世界で起きている諸問題を取り上げており、社会学部の皆さんには興味を持っていただける内容であると思いますが、多少、難しい部分もあったかも知れません。 しかしながら、「説明のわかりやすさ」について⑤と④の回答が91.7%、「授業の工夫がされていたか」について同様に91.6%、「(自分が)意欲的に取り組んだ」について91.7%、そして総合的な満足度としても91.7%が⑤④を付けてくださり、良い授業を提供できたと理解しています。 今後も皆さんの声を聞きながら、より理解度の高い授業を行う努力をいたします。いつでもご意見をお聞かせください、お待ちしております。</p>

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅡA	阿佐美 敦子 ライト, アレックス	アンケートにご回答くださった方々、ありがとうございました。 使用しているテキストは世界で起きている諸問題を取り上げており、社会学部の皆さんには興味を持っていただける内容であると思いますが、多少、難しい部分もあったかも知れません。 しかしながら、「説明のわかりやすさ」について⑤と④の回答が95%、「授業の工夫がされていたか」について同様に90%、「(自分が)意欲的に取り組んだ」について95%、そして総合的な満足度としても95%が⑤④を付けてくださり、良い授業を提供できたと理解しています。 今後も皆さんの声を聞きながら、より理解度の高い授業を行う努力をいたします。いつでもご意見をお聞かせください、お待ちしております。
演習ⅡA	粟津 俊二	・全項目(学生自身の自己採点除く)の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。
演習ⅡA	井上 綾野	アクティブラーニングを中心に進め、みなさんとても意欲的に取り組んでいたことが印象的でした。この調子で後期も頑張ってください。
演習ⅡA	駒谷 真美	この講義の前半は、2年次がゼミ選択の時期であるゆえ、ゼミで学びたいことについて、卒論活動の同様のプロセスで、mindmap・文献リスト作成・文献研究・プレゼンを行った。履修生は、個々の興味関心を学術的視点で捉えるようになり、ゼミ選択の契機になった。 後半は、グループワークでPBLを実施した。2年生ではかなり深慮する高度な内容であったにも関わらず、履修生は積極的に取り組み、Z世代の斬新なアイデアで企画を実現できていた。履修生たちは、毎週チームで考えた課題を試行錯誤しながら解決し、ブリーフプレゼンで途中経過を発表し、互いにフィードバックし、講義外でもディスカッションを深めて、高め合っていた。 その結果が、授業アンケートでは、成長実感度・自己評価・意欲向上度すべてに高い数値として表れていた。履修生たちの育ちを見れて大変喜ばしい。
演習ⅡA	山根 純佳	授業の理解度にばらつきがあったので、わかりやすい授業を心がけたい
演習ⅡA	篠崎 香織	最初にお話した通り、おそらくこの機会にしっかりと調べて知ることはないだろうというテーマを取り上げ、難しいだろうと思いつつも皆さんにチャレンジしていただきました。結果は、大成功!とてもよく調べて、まとめ、みんなに伝えるという課題をクリアしてくれました。 この流れを参考に、後期以降の学びにつなげてください。
演習ⅡA	松浦 常夫	自分の意見を言えるようになったという学生が何人かいて、よかったです。
演習ⅡA	蔭 飛鴻	平均より下回った項目もありますので、今後はよい講義ができるよう方法を改善したいと思います。ご回答どうもありがとうございました。
演習ⅡA	数野 昌三	演習ⅡAでは、レジュメの書き方、プレゼン方法、特に聞く側が興味をもって聞くこと、そしてレポートの書き方について復習しました。そして、班分けをし、1名3回ずつのプレゼンを2回のパワポも含め実施し、クラス全員の方でディベートも実施しました。 後期に実施する専門ゼミ選択に向け、1人1人選択理由をしっかりと考え、希望するゼミへ入室できるよう努力を繋げていきましょう。
演習ⅡA	谷内 篤博	演習ⅡAは、全体的に学生諸君の満足度も高く、また自分が成長できたと実感している学生が多く、授業担当者としては大いに満足している。まだまだ工夫の余地があるので、さらなるブラッシュアップを図っていききたい。
演習ⅡA	竹内 美香	2022年度の前期は対面型で行うことが原則となっていました。演習Ⅱでは対面の利点を活かすことが出来たと思っています。(終盤の感染者急増はとても恐ろしかったですね。) 演習の前半は構造化されたグループワーク、後半には非構造的なグループワーク課題を配置しました。 構造化されたグループワークでは、1つの班に2回分の発表プレゼンテーションを目指すテーマを割り振りました(自分の班の担当テーマ選定は学生さん自身が行います)。1回の発表会回あたり2つの班が同じテーマで発表を行います。構造化されたグループワークは、まずメンバー各自が相当の時間をかけて課題となったテーマについて調べ、個人レポートを書く工程からスタートします。プレゼン制作は班活動として行いますが、その内容が充実したものになるか否かは、個人個人が書いたレポートに掲載される情報の「厚み」によって決まります。「薄いレポート」を持ち寄っても、その後のプレゼン制作のために長く設定されている演習の時間は、無駄で退屈なものになってしまいます。グループワークを主とする演習科目の怖いところでもあるのです。教員にとっては「待つことが重要」とわかっている、忍耐が試されるのも演習科目です。このように演習は、学生さん自身の主体的な取り組みが「背骨」になります。

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
		<p>個別のレポートにはそれぞれの学生さんの真面目な特性が顕われていましたので、「今年の演習も充実したものになる」と当初から期待の膨らんだ教員でした。プレゼン制作の工程では、教室はやや静か。(班メンバーが対面できる演習の場面をもっと活用して、ワイワイ喋ったらいいのに…という感じ。そこは今後の皆さんの課題でしょうか。)発表会は、1班あたり25~30分という長大な形式としました。曰く「教育実習のつもりで、教室の人に教えるほどの情報価で構成しなさい」という課題としたのです。とてもとても充実した迫力ある発表が行われました。2つの班が同じ課題で発表することで、双方が補い合う学びになったのも、学生さん同士でも高い評価ポイントになっていました。発表会後の事後レポートも誠実に書かれ、その中でも「じっくり丁寧に調べてレポートを書き、それを持ち寄ってさらに調べて構築するプレゼンは価値がある」ことを指摘している人が多かったため、実施した教員も責任が果たせたことと安心しました。</p> <p>非構造化グループワークは、正解のない課題(倫理ジレンマ問題)について、自由に意見交換して、その過程について報告プレゼンするもので、企業の集団面接などで時々行われる課題としても知られています。就活場面でのグループワークでは、未知のメンバー同士で短時間にプレゼンまで持っていくことになるのですが、この演習では、前半の構造化グループワークで自由に気どころの知れたメンバーで忌憚なく意見交換することで、このような課題に入門することにしました。決まりきった「正解」の存在しないコンテンツでは、グループメンバーが如何に自他の考えを展開し、創造的な発信につなげることができるかが重要になります。過程が大切という課題です。今回の演習の経験を活かして、就活場面など未知の人との協働場面でも、自分の言葉を発することに挑戦してください。</p> <p>クラス全員がそれぞれの努力で大学ゼミらしい充実した取り組みにすることができました。これからも一緒に、生き生きと学びましょう。</p>
演習Ⅲ A	阿佐美 敦子	<p>アンケートにご回答くださった方々、ありがとうございました。</p> <p>前期ゼミでは数名のゲスト交流やグループプレゼンのための調査で何人もの外国人の方々とコミュニケーションを図る必要があり、ゼミを選んでくださった皆さんにとって、必須の知識を養っていただけたと思う反面、グループ内のコミュニケーション等々、もしかしたら多少、難しい面もあったかも知れませんが、それも良い勉強、体験ととらえていただけたら嬉しいです。</p> <p>「説明のわかりやすさ」について⑤と④の回答が100%、「この科目をさらに学びたいか」について同様に100%、「(自分が)意欲的に取り組んだ」について100%、そして総合的な満足度としても100%が⑤④を付けてくださり、良い授業を提供できたと理解しています。</p> <p>今後も皆さんの声を聞きながら、難しい部分はさらに丁寧に説明し、より理解度の高い授業を行う努力をいたします。いつでもご意見をお聞かせください、お待ちしております。卒論も頑張りましょう、応援しますね。</p>
演習Ⅲ A	粟津 俊二	ほとんどの項目が4.5以上、最も低いものでも4.3程度であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。
演習Ⅲ A	井上 綾野	他ゼミや企業との交流等、様々な活動を通してマーケティングに対する学びを深めることができましたね。理論を学び、それが実践に活かせるよう、後期も頑張ってください。
演習Ⅲ A	角本 伸晃	「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」について4.40、「13. この科目(系・分野)をさらに学びたいと思いませんか?」について4.80と高い評価をもらいました。これは東京サマーランド様との産学連携をした結果とも思います。
演習Ⅲ A	吉田 雅彦	楽しくよくがんばりました。
演習Ⅲ A	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。参考させていただきます。
演習Ⅲ A	駒谷 真美	<p>全体的に今期のゼミ生は、コロナ禍においても、個人の卒論活動・グループでのラジオ番組制作活動、ともに主体的かつ積極的に進めており、目覚ましい成長ぶりである。</p> <p>個々の卒論活動では、自分の卒論テーマについて先行研究や文献にあたり、最終的にオリジナリティに富んだテーマを選定できていた。この試行錯誤のプロセスを体験したことで、今後の卒論や就活活動に際してのレジリエンスにつながってくれるだろう。</p> <p>グループとして大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ」の活動においては、本年度から本格的に実践女子学園の中学校と高校の中高大連携を行っている。月毎の担当グループが、中高生とコミュニケーションを取りながら、メインパーソナリティとして、工夫しながらベストを尽くしている。本年度は現状に甘んじず、番組の改善案を検討し、内容のリニューアルやSNS展開など更なる高みを目指している。</p> <p>その結果、授業アンケートでは、成長実感度・勉学継続度・満足度・意欲向上度において全体平均と当該区分平均を上回る評価を得たことは、まさしく履修生たちの育ちであり、大変誇らしい。</p>

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢA	原田 謙	スピード、説明のわかりやすさ、双方向授業の工夫、聞き取りやすさは4.5点であり、比較的高評価だったようです。前期は、各自の発表は充実していました。後期は、個人だけでなくグループワークを中心としたPBLに取り組みたいと考えています。がんばりましょう。
演習ⅢA	広井 多鶴子	大変出席率も良く、全員が課題にまじめに取り組んだ。ほとんどが成長を実感できたと応えていることが満足度の高さにつながっているものと思われる。
演習ⅢA	高木 裕子	真面目に取り組まれ、ご自身の成果と成長が感じられたことはよかったですと思います。「後期」も引き続き頑張ってください。
演習ⅢA	山根 純佳	授業の理解度の回答にばらつきがあったので、理解度を確認しながら進めるなどの工夫をしたい
演習ⅢA	時田 朋子	専門ゼミとなり、発言も求められて大変だったかもしれませんが、4月に比べて大きく成長しました。後期はプロジェクトを実施します。楽しく頑張りましょう。
演習ⅢA	篠崎 香織	前期の輪読、お疲れ様でした。学習した概念や理論について、まだうっすら記憶があるうちに、再度整理しておくこととさらなる理解につながります。前期の課題でどのようなテーマに関心があるのかを聞きました。卒業研究につなげていきたいので、コメントを参考にして、さらに考えを深めてください。後期はゼミ仕切りを進めながら、卒業研究の方向性を決めていく指導を個別に行う予定です。
演習ⅢA	松浦 常夫	論文の書き方に少し慣れたと思います。
演習ⅢA	蔣 飛鴻	平均よりやや下回った項目もありますが、総合評価では全体平均の4.29に対して、この科目は4.67となっております。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
演習ⅢA	神山 静香	全ての項目で肯定的な評価とコメントをいただきありがとうございました。コメントにもありましたが、一人ひとりが意欲的に課題に取り組んだことで、課題について深く探求することができました。コミュニケーションを密に取りながら、皆さんの自発的な興味や関心に基づく主体的な学びとなるよう、サポートしていきたいと思っています。
演習ⅢA	数野 昌三	法律が少しずつ身近に感じられるようになってきたことと思います。そして、理解をより深めるためには、事前学習・事後学修を欠かさないことです。2023年度ビジネス実務法務検定試験全員合格を目指し、日々努力していきましょう！それでは後期、笑顔で再会しましょう！
演習ⅢA	相川 愛美	引き続き、後期も卒業論文に制作に向けて進めていけたらと思います。
演習ⅢA	谷内 篤博	この演習を通じて成長を実感している学生が全体平均を上回っていることはゼミ担当者としてこの上ない喜びである。また、この専門分野をさらに学びたいのスコアも高く、ゼミ指導が効果的であったと実感している。
演習ⅢA	竹内 光悦	調査系のゼミながら、回答数が少ないことは課題ですね…。残念です。後期はまずは回答数をあげることを課題にします。

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	竹内 美香	<p>2022年度は対面型で授業展開することができました。2022年の演習Ⅲの学修コンテンツも、先輩が収集した調査データの再解析の課題としました。今年度から演習用の素材データを刷新いたしました。それは教員と学生が共に、同時に学び合うために、新しいデータを解析の方が効果的と考えたからです。内容は、現在の感染症蔓延社会で安全に過ごすための必要性から使われているマスクが、表情・感情認知にどのような影響を与えているか、評定的回答を統計的解析する課題です。教員と学生さんと一緒にPC操作の作業をしてみました。データ解析がさほど難しいことではないと体験して頂くことができましたと思います。</p> <p>途中、データのバグがありましたので、その対処に苦慮しました。しかしこれは調査業務・データ解析の工程に含まれるリスク要因で、その対処の体験になったということも出来そうです。統計解析自体は馴れてしまえば難しい事ではありません。むしろ今回のように、元々のデータをクリーンに保つところで「神経を遣う」割合が大きいのです。</p> <p>この演習では、心理・社会調査データの基礎解析処理の際にExcelシートをどのように扱ったらよいか、自分の力で実習し学んで頂くことが出来たはずで、今後の卒業研究に必須のテクニックとしての内容ですから、本当に「自分でできる」ようになっていて頂きたい基本中の基本です。ぜひ時々復習してみてください。</p> <p>演習は、これからが本番です。さらに学びを続けましょう。真摯に誠実に仲間と逢えるゼミの時間を大切にしながら、それぞれの課題に取り組んでください。就活に、卒業研究に、さらに課題が生起して来ますが、さらに学び続けましょう。</p>
演習Ⅲ A	標葉 靖子	<p>ゼミではみなさん自身が主体的に学ぶことがとても重要になってきます。理論と実践の両方をゼミの中で扱うようにしていますが、みなさん自身が自らの関心をしっかりと言語化していくことが、学びの深化の鍵となりますので引き続き頑張ってください。</p>
演習Ⅳ A	阿佐美 敦子	<p>アンケートにご回答くださった方々、ありがとうございました。</p> <p>前期ゼミでは卒論への取り組み、お疲れ様でした。いよいよ本番はこれからですね。卒論テーマを決めて方向を定め、資料収集を行うには難しい面もあったかも知れませんが、それも良い勉強、体験ととらえていただけたら嬉しいです。</p> <p>「説明のわかりやすさ」について⑤と④の回答が87.5%、「(自分が)意欲的に取り組んだ」について87.5%、そして総合的な満足度としても87.5%が⑤④を付けてください、さらに「この科目をさらに学びたいか」については100%の回答でしたので、後期ゼミを楽しみにして下さっていることがわかり、とても嬉しく思います。</p> <p>今後も皆さんの声を聞きながら、難しい部分はさらに丁寧に説明し、より理解度の高い授業を行う努力をいたします。いつでもご意見をお聞かせください、お待ちしております。卒論、応援しますね。皆で頑張りましょう。力作を楽しみにしています。</p>
演習Ⅳ A	栗津 俊二	<p>・全項目(学生自身の自己採点除く)の平均値が4.5以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。</p>
演習Ⅳ A	井上 綾野	<p>卒論を中心に、個人での研究を深めることができましたね。後期も頑張ってください。</p>
演習Ⅳ A	角本 伸晃	<p>前期は就活が忙しくあまり卒論が進んでいませんでしたが、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」について4.67と高い評価をもらいました。卒論指導もさることながら、就活についてもサポートした結果と思います。</p>
演習Ⅳ A	吉田 雅彦	<p>就活がたいへんな中、よくがんばりました。</p>
演習Ⅳ A	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございました。参考させていただきます。</p>
演習Ⅳ A	駒谷 真美	<p>ゼミの卒論活動については、履修生4年生12名は、3年次後期から4年次前期にかけて、アンケートの調査や文献研究やメディア作品の分析を行っている。同時に、コロナ禍で就活で多忙を極め心身ともに疲弊している。よって、1名でも回答してくれただけ有難い。</p>
演習Ⅳ A	原田 謙	<p>内容と方法の5項目で4.5点以上であり、総合的な満足度も4.83点と、比較的高評価だったようです。発表者がきちんと準備してくれたおかげで、お互いの卒論のベースとなる部分が共有できました。最後の半年、自分の成長が実感できるような卒論を仕上げましょう。</p>
演習Ⅳ A	広井 多鶴子	<p>出席率も良く、課題にもまじめに取り組んだ。そのため、満足度も高くなっているものと思われる。</p>

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣA	高木 裕子	就活他色々あったため、計画通りに進めることが難しかったのは残念でしたが、春から夏のこの期間を、ご自身の成長と卒論にかけられていたことはよくわかりました。「後期」は、来春から社会人になることを踏まえ、しっかり学ばれることを期待しております。
演習ⅣA	山根 純佳	予習時間をもう少し増やすように指導していきたい
演習ⅣA	時田 朋子	後期は卒論を書き上げます。引き続き、がんばりましょう！
演習ⅣA	篠崎 香織	前期はテーマの決定がポイントでした。 後期は、主張に結びつけるための、「根拠」をしっかり揃えることがポイントになります。時間をかけないと見つからないことがあるので、早めにとりくみましょう。そして、12月初旬には完成させましょう！
演習ⅣA	松浦 常夫	これから卒論ですね。早めに準備しましょう。
演習ⅣA	蔣 飛鴻	平均より下回った項目もありますので、今後はよい講義ができるよう方法を改善したいと思います。ご回答どうもありがとうございました。
演習ⅣA	神山 静香	全ての項目で肯定的な評価とコメントをいただきありがとうございました。全員が論理的な思考力や分析力をさらに磨くことができるよう、卒論作成を指導していきたいと思います。
演習ⅣA	数野 昌三	8/4 (木) に実施した卒業論文中間発表、大変お疲れさまでした。卒業論文完成へのスタート台に立ったところです。今後の中心は学説の対立に関してそれぞれの批判を中心に検討していくようにしましょう！私を含め体調に十分気を付け、9月に再会しましょう！
演習ⅣA	谷内 篤博	演習Ⅳは卒論中心であるので、個々の学生の卒論に対するフィードバックが功を奏しているようで安心した。卒論完成に向けて、さらなる個別の指導を徹底していきたい。
演習ⅣA	竹内 光悦	調査系のゼミでありながら回答者が0名というのは残念です。改善としては、まずは回答数をあげることからと感じます。
演習ⅣA	竹内 美香	2022年度は対面型で授業展開することができました。演習Ⅳは実際のところ春先から、卒論のための調査を電子回答収集のできるGoogle Formでの設計を開始していたので、期間中は専ら「前期中に調査実施」というタイトなスケジュール実現に専心したハードな進行と全員で闘いました。学生・教員間の個別の指導と工程管理も、一人一人の高い自覚と意識に支えられて、大きな事故もなく、進めることができました。教員は安堵しています。 収集したデータを破壊しないように保存・管理して解析の作業を進めて頂きたい、お願いいたします。 前期の大きな作業課題であるGoogleForms作成など、他ゼミに先駆けての早い取り組みもできたから、自信が持てるようになったかもしれませんね。スケジュール・工程管理は社会人になってからも最重要の課題ですから、今期、それを習得した点を誇ってください。回答協力してくれた後輩さんたちに対する感謝も忘れないようにしましょう。感謝して丁寧に解析して卒論を書いて頂きたいものです。GoogleFormsが作れるようになりました。これもあなたが誇れることです。 2022年度の後期がどんな情勢であるか、誰にも予見できませんが、さらに努力を積み重ねてゼミ生全員で幸せになりましょう。ご一緒に頑張りましょう。
演習ⅣA	標葉 靖子	卒論の個別指導含め、普段のゼミのなかで適宜フィードバックしています。
家族社会学	広井 多鶴子	1時間目の対面授業だったが、全体として出席率もよく、満足度も高かった。質問14の自己評価が低いのが少々になるが、学ぶ意欲は喚起できたのではないと思われる。
会計学総論Ⅰ	蔣 飛鴻	総合評価では全体平均の4.34に対して、この科目は4.60と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
観光事業論	角本 伸晃	「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」について4.24でした。当該区分平均4.37よりも低かったため、来年度はより満足してもらえるように工夫していきたいと思っています。

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
企業戦略論	吉田 雅彦	<p>難しく分厚い経営戦略のベストセラー本ですが、ほとんどの学生が読みこなして、一段階成長できたという感想をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締切期限の延長はとてありがたいのですが、期限を勘違いしてまだやなくていいやとなってしまうので延長はなくても良いと思いました。 ・最初は難しい内容が多かったので対面での開催が望ましい。 ・毎回課題に質問を記入する欄があり、どこに何を書けばいいのかいまいち分からなかった。また、必ず何か書かなければいけないシステムが苦痛だった。 <p>というコメントをいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回から締切期限の延長はしないことにします。 ・コロナが収まったら対面でできるように大学側をお願いします。 ・質問の記入を一か所にします。質問は任意で、すれば加点することを明示します。
共生支援論	高木 裕子	<p>今年度はオンデマンドで授業を行いました。抽象的かつ概念的な内容もできるだけわかりやすく、理解して頂けるよう、努力・工夫はしたつもりですが、まだまだです。次年度に向けては、世の中で行っていることやテーマ性も持つできるように改善していきます。毎回の学習課題を拝見するのが楽しみでした。</p>
経営学概論	篠崎 香織	<p>さらにかみ砕いた説明や、履修者の関心にあう事例を取り入れていき理解の深まる授業にしていきます。</p>
経営組織論	篠崎 香織	<p>履修者の理解の具合を確認しながら授業を進めることができました。もっと皆さんの意見を引き出していけるよう、今後も工夫していきます。</p> <p>私たちと組織は切ってもきれない関係にあるので、色々な視点から組織を捉えることで、かかわり方を工夫して欲しいです。</p>
経営分析論	蔦 飛鴻	<p>総合評価では全体平均の4.34に対して、この科目は4.83と非常に高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。</p>
経済学概論	吉田 雅彦	<p>ニュースなどで、経済学の用語が出てもう意味が分からなく、理解できなかったことがあったけれど、理解できるようになった。経済学は難しいものという先入観があったが、学んでみると身近なこともたくさんあり、理解が深まった。などのコメントをいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページが進む時に教科書のページ番号を教えていただけると嬉しいです。 ・たまに後ろのテレビが付いてないことがあり、授業資料が見つらなかったため、後ろのテレビをつけて後ろでも見やすくして欲しいです。 ・教材を更新するときに、名前を変えていただけると整理しやすくありがたいです。 ・一回分の授業で使うページを分けて添付していただくと、復習がしやすいと感じた。 <p>という指摘もいただきました。改善していきます。</p>
経済発展論	角本 伸晃	<p>「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」のついて4.45でした。当該区分平均4.37よりも少し高い評価でしたが、経済系の科目は評価が辛めにつくので、平均を超えられて良かったです。</p>
経済法	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございました。参考させていただきます。</p>
現代教育論	広井 多鶴子	<p>オンデマンドの授業で、かつ、授業の録画は行わなかったが、全体として、課題の提出状況も良く、満足度も高かった。とくに、「意欲的に取り組めた」という回答が多かったことは、とてもよかったと思う。</p>
行動科学	松浦 常夫	<p>オンデマンドでしたが、人の行動についての理解が得られたようで、良かったです。</p>
国際NGO論	神山 静香	<p>全ての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。今年度はコロナウイルス感染症の影響による変則的な時間割であったため、授業時に「5限の就職ガイダンスと重なってしまう」、「午前中の授業終了後、5限の授業まで時間が空いてしまう」等の声がありました。コメントにもありましたが、次年度も同様の状況が続けば、オンデマンドやオンラインを上手く活用していきたいと思います。また、指摘のあった点は次年度の課題とし、改善したいと思います。</p>
国際関係概論	神山 静香	<p>全ての項目で概ね肯定的な評価をいただきありがとうございました。オンデマンド型で教材を配信する形式の授業となり、はじめてこの分野を学ぶ履修者の方にも理解しやすい教材となるよう心掛けましたが、今年度、指摘のあった点については次年度の課題とし、改善するようにしたいと思います。</p>

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
産業・組織心理学	松浦 常夫	就職と仕事についての知識や理解が進んだという意見が多く、よかったです。
社会科学データ分析	竹内 光悦	オンデマンド科目であることから、動画を視聴して、質問は常時受け付けるタイプでしたが、内容が3年生対象でもあることからやさしくはないため、もう少しかなと感じる結果でした。どちらにしてもRを使いこなしているひとがいるため、主たるところは変更せずに、もう少し説明を工夫したいと思います。
社会学概論	原田 謙	授業のスピードや話の分かりやすさ、配布資料のわかりやすさなどは4.5点を超えており、比較的高評価だったようです。1年生の皆さんは、来年度以降、詳しく学びたいと思った社会学の選択科目をぜひ履修してください。
社会言語学	高木 裕子	本授業で紹介した調査法については、なかなか難しいところがあったかもしれませんが、実際に調査され、別の意味での実際論としての難しさも感じられたかもしれません。その「難しさ」が各結果に出ていたとしたら、効果があったと理解してもいいかもしれませんが、皆様方が興味を持って、しっかり調査法を身に付けていってくださるよう、改善はしていきます。
社会調査概論	竹内 光悦	通常だと対面授業である本講義ですので、やや伝わりにくいところがあったかと思いますが、おおむねよい回答があったかと感じています。自由回答を見ますと、誤解しているのではと思うコメントもありましたが、そのほかのコメントはポジティブな意見で、相互評価も含め、良かったかと思えます。社会調査士系の科目は今後も続きますので、引き続き、よろしく願います。
社会調査実習 I	竹内 光悦	おおむね高評価だったと思いますので、良かったと感じます。特に本講義のひとつの目標でもある協働学習も意識してもらっているのによかったと思います。課題について自由回答で時間がないなどもありましたが、これらはスケジュールの提示、また内容もそれまでのワークでも必要なものをまとめるものですので、これ以上は難しいと考えます。どちらにしても後期も頑張っていきましょう。
女性と労働	山根 純佳	予習復習時間にばらつきがあったので、なるべく均一になるような課題設定したい
商法概論	神山 静香	オンデマンド型授業で教材を配信する形式だったため、十分な説明ができなかった点があり、対面やzoom配信の授業に比べ、授業の理解度の点で課題が残りました。オンデマンド配信となった場合の教材の理解しやすさや指摘のあった点については、次年度の課題とし、改善したいと思います。
消費者保護論	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。参考させていただきます。
障害者・障害児心理学	佐藤 恵美	この授業を取っていただき、ありがとうございました。久しぶりの対面授業だったので少々緊張したのと、マスクで途中酸欠になりそうになりましたが、何とか終了することができました。皆さんのご意見を参考にして、次回はもう少し資料等をタイトにさせていきたいと思っています。ありがとうございました。
情報セキュリティ	駒谷 真美	この講義の前半は、Society 5.0を生き抜くために、最新の情報セキュリティ・情報倫理の基礎を学修し、知識の定着に基づいたソーシャルメディアコミュニケーション(SMC)のスキルを促進している。本年度も情報セキュリティのスペシャリストから最新動向を教授してもらい、トレンドマイクロ社のワークショップに参加した。 後半は、企業とPBLを行いワークショップ形式で情報に関わる課題解決のスキルを体得する。本年度はspicebox社の全面的な協力を得られた。spicebox社は、ソーシャルメディアのデータを駆使した独自の「エンゲージメント・コミュニケーション」戦略で、多岐に渡る企業のブランディングを支援し成功している、広告コミュニケーションのプロフェッショナルである。spicebox社のAIを駆使したデータツールを特別に履修生にも使用を許可された。そこで、大学公認の「渋谷のJJラジオ」改善策について、チームごとSNS分析を丁寧に行い、ラジオのエンゲージメントに着目し、第一次提案から最終提案まで完成し、spicebox社から高評価を得ることができた。 その結果、授業アンケートでは、成長実感度・勉学継続度・満足度・意欲向上度において全体平均と当該区分平均を上回る評価を得たことは、まさしく履修生たちの育ちであり、大変誇らしい。 履修生がプレゼンした改善案は、現在実際に「渋谷のJJラジオ」のリニューアルで実施されている。学生たちのPBLが机上の空論でなく、OODA Loopに基づいて、実践されていることが何よりの成果である。

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
心理学概論	竹内 美香	<p>2022年度の「心理学概論」は1回目を対面授業として開始したのに、当方が2回目授業予定日から体調を崩し少しの間ですが入院を余儀なくされました。このため、5月いっぱいまで、当初の予定を変更して、オンデマンド型の動画配信授業で講義を続行する形式としました。6月からは教室での講義に戻すことができました。オンデマンド型と対面講義の両方を体験して頂くことになったのですが、変則的な授業運営にご協力いただき、ありがとうございました。対面型に復帰してからは、皆さんが書かれたワークシートをピックアップし共有し、教員が解説する時間を持つことができました。対面型では「双方向性」が確保できますが、その利点を改めて感じる事ができました。実は「何かあった時」の備えとして、授業回分の動画を全て制作してみることも試行しました。対面授業に復帰してからも、授業後に動画を配信しました。このことにより、感染症も含め、体調不良で教室授業に参加できない人にも学び続けて頂けるという利点が生れました。動画制作の作業をすることで、幅広く学ぶ入門科目としての「心理学概論」の内容を体系的に整理することもできました。</p> <p>心理学は大学で初めて開始される科目の一つです。「概論」ですのでとにかく、心理学の研究対象としての生物的・行動的事象を、どのように科学的整合性を求めてアプローチしているか、紹介することに努めています。現代科学では、論理的な仮説を立て、他者が追認できる形でデータを測定し、データの統計的解析により元々の問題の解答に還元し、検証を重ねます。「心理学概論」では、「情報処理機構(システム・系)としての人間(生活体)」について、近接する生物学や生理学、医学などの学問も含む多領域の情報も織り込みながら説明しているのです。</p> <p>毎回、授業で学んだことを2つ選択して書き込んで頂くワークシートを実施しました。14回すべての授業回で提出を課しましたが、大方の皆さんがよく頑張ってくれました。特に授業期間の中盤頃から、書き込まれる問題意識や論旨の展開に深まりが出て、教員であり研究者でもある講義担当者の私も啓発されることが多くなります。j-stageや日本心理学会やその他専門学会のwebページで紹介される動画や資料を読み込んで、さらに調べてワークシートに書き込む人などもあり、教員としても励まされました。</p> <p>全般的な注意点があるとしたら、提出ファイルを間違えるのか空ファイルや破壊されて読み出せないファイルを提出しているために採点対象にできないケースがあったことでしょうか。提出ボックスを間違えたという届け出もありました。これらは事例数は多くはないのですが、確実なファイル管理ができるスキルは、人間社会学部で学ぶ人には「必須科目」です。確認を怠って招くミスは「信頼性」という社会生活で最も大切な基礎点を減らす残念な失敗です。ミスは防いでも防ぎきれないので、努力と、ミスを起こしにくくする仕組みづくりが必要です(それも心理学の「仕事」です)。</p> <p>さらにさらに学んでください。</p>
心理学研究法	松浦 常夫	心理学の研究をする上で、参考になったようで、良かったです。
心理学実験 I	粟津 俊二	・全項目(学生自身の自己採点除く)の平均値が5.0程度であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。
人間社会学総論	広井 多鶴子 谷内 篤博 山根 純佳 駒谷 真美 神山 静香 時田 朋子 井上 綾野	<p>この授業はオムニバス形成の授業で、2回を担当したが、全体的に見て成果があったものと思われる。次回に向け、さらなるブラッシュアップを図っていきたくと考えている。</p> <p>全体としてまずまずの評価であり、授業の目的はほぼ達成できていると思われるが、満足度をさらに高めていく工夫が必要に思われる。</p>
人材開発論	谷内 篤博	全体的に見て、ほぼシラバス通りの授業ができ、一定の授業評価が得られたと思います。双方の授業を積極的に展開したつもりですが、まだ不十分と思われるので、今後もっと増やしていきたいと思っています。
人的資源管理	谷内 篤博	授業に対する学生諸君の満足度が高く、かつこの授業を通して自分が成長していると感じている学生が全体平均よりたかく、安心している。ただ、シラバス通り授業を展開したつもりであったが、そう感じていない学生も存在しており、今後はシラバス通りの授業展開を心掛けたい。
地域社会学	原田 謙	スピード、説明のわかりやすさ、聞き取りやすさは、4.5点を超えており、総合的な満足度も4.57点と比較的高評価だったようです。皆さんのresponの回答も、授業進行上とても参考になりました。
調査・実験データ処理法	竹内 光悦	Excelでのデータ処理・分析を覚える本講義ですが、感想を見ますとおおむね力が付いたことを実感できた人が多く、良かったと思います。社会に出てもExcelはやはり使いますので、この講義だけで終わるのではなく、今後いろいろな使って、スキル向上を目指していきましょう。

[2022 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
発達心理学	竹内 美香	<p>2022年度も新型コロナウイルス感染症への対策状況が続いています。本科目は今年度から初めて、全編オンデマンド(講義動画配信)型で実施することになりました。教員は春季期間に14回分の講義動画を(自前で)制作しました。対面型の講義ではできない各論の詳細・精緻化を実現する利点があることを感じることができました。受講した皆様はいかがでしたでしょうか。</p> <p>「発達」は生涯を通じて起こる人生移行であり、「揺りかごから墓場まで」というフレーズは本科目をよく代表する言葉と思います。発達心理学では、お母さんの胎内に宿る原初の胎児の生命活動から、生まれて、社会的関係性の中で身体の生理的機能に基づき認知的システムが構築され、高度な認知機能や社会的スキルを獲得するまでを辿ります。中でも赤ちゃん時代とお母さんをはじめとする養育者との相互作用は、「発達心理学」の中では扱うべきトピックですが、老年まで扱うと時間が不足するほどです。例年この科目は「赤ちゃん」のまま成長しないまま終始してしまうほどでした。</p> <p>今回はオンデマンド型のために体系を見直し、他の発達時期もバランスよく配置しなおすことができたので、担当者としては安堵しています。オンデマンド型には落ち着いて、濃い内容を学べるという利点があるようです。</p> <p>週1回、新しい単元の動画を配信し、学ぶ皆さんからワークシートを都度、提出して頂きました。対面型に勝るとも劣ることのない内容の濃いワークシートが提出されていました。授業は14回。履修学生の皆さんそれぞれに「自己管理」と「自律的な努力」が求められたことと思います。途中、何回か担当教員(当方)のミスや訂正配信などもあり、その都度対処して頂きました。ご協力に心から感謝いたします。</p> <p>現時点の感染者数の推移を見ておりますと社会的な楽観はまだ難しいようです。私たち一人ひとり、心を注いで、最善の努力をすることを試されているのかもしれない。さらにさらに学びましょう。</p>
福祉心理学	仁田 雄介	<p>学生の皆さん 講義アンケートに回答していただき、ありがとうございました。みなさんに講義に満足していただけただけようで、大変嬉しく思います。今回の講義では、私の声が少し聞き取りにくいというコメントをいただいておりますので、今後講義を実施する際にはその点について改善したいと思います。</p> <p>今後ともどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>仁田</p>
簿記論 I	蔣 飛鴻	<p>総合評価では全体平均の4.34に対して、この科目は4.49と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。</p>
法律学	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございました。 参考させていただきます。</p>
民法概論	数野 昌三	<p>「民法概論」では、民法の歴史・基本原則とその修正、債務不履行、売買契約、消費貸借契約、質貸借契約などについてポイントを絞って授業を実施しました。</p> <p>アンケートでは、大事なポイントを強調し大変分かりやすかった、対面だったのでより分かりやすく意欲的に取り組めた、授業速度が若干早い時もありついていくのが大変だった等が記されていました。</p> <p>木曜日の第1時限の授業でしたが、受講生の皆さんの意欲ある眼差しが印象的でした。民法についてさらに学びを継続して下さい。</p>
流通サービス論	井上 綾野	<p>流通は独特の用語が多く、難しい学問だったと思いますが、みなさんととても最後までよく頑張ったと思います。科目として流通を学ぶことはありませんが、卒論等で取り組んでいただけたらと思います。</p>